

響灘エネルギー産業拠点化推進期成会

設立趣意書

近年始まった人口減少は、今後加速度的に進むことが予想され、さらに大都市への人口流入が続く中、地域経済の縮小が地方の活力を奪いつつあります。このため、我が国では、人口減少克服とともに地方創生に取り組むこととしており、その対策として地域産業の競争力強化の実現が必要不可欠となっています。そのような中、エネルギー政策については、抜本的な見直しが迫られており、地球環境の保全と安定的な電力の供給を行っていくために、地域の特性を活かした様々なエネルギーの導入を図っていくこととしています。

臨海部に位置する響灘地区は、2000haの広大な土地と充実した港湾インフラを有し、様々な再生可能エネルギーや、大規模なLNG基地なども立地しています。今後も、再生可能エネルギーの推進や洋上風力の総合拠点の形成、未利用エネルギーを活用した新たな産業集積モデルの構築などが見込まれています。また、エネルギーを賢く使う仕組みづくりを目指す取組みも進められています。

我々が今回「響灘エネルギー産業拠点化推進期成会」を設立するに至ったのは、こうした地域のポテンシャルを活かした取組みを後押しすることで、今後の成長が期待されるエネルギー産業の振興を加速し、雇用の創出やビジネスチャンスの一層の拡大を図るなど、地方経済の発展に大きく貢献できると考えたからです。

ここに我々産学官が結集し、後世に新たな活力が芽生えるような産業を残していくために、エネルギー産業の拠点化にむけた様々な取組みを後押しする「響灘エネルギー産業拠点化推進期成会」を設立するものであります。

平成27年 5月29日

響灘エネルギー産業拠点化推進期成会

発起人代表 利島 康司